

東京日本語ボランティア・ネットワーク

日本語 NETWORK NEWS

〈第8号〉

〒162 東京都新宿区神楽河岸1-1 東京ボランティア・センター気付 TEL03-3235-1171

東京日本語ボランティア・ネットワーク 設立二周年記念イベント

水谷 修氏を迎えての『お話と懇親会』が盛大に開催！

1993年12月に発足したTNVN東京日本語ボランティア・ネットワークも、95年12月には、設立二周年を迎えることができました。設立以来今日まで、会員や関係各位の皆様のご協力によって、会員数も順調に増加し、また活動の幅も拡大することができました。

そこで、95年12月13日（水）にはTNVN設立二周年を記念して、水谷 修氏（国立国語研究所所長）をお迎えしての『お話と懇親会』が開催されました。

この設立二周年記念イベントは、賛助会員であるKDDのご厚意によって新宿KDDビルの大会議室を会場にして、TNVNの正会員・賛助会員・協力会員の皆様の参加を得て開催。話題の「ら抜き言葉」等をはじめとする日本語にまつわる水谷先生のお話の後には、活発な質疑応答が交わされました。引き続いての懇親会では会場のあちらこちらでにぎやかに話の輪が広がり、さまざまな団体相互の交流が計られたようです。参加者からは「設立五周年記念のイベントは東京ドームで！」という声も聞かれるなか、盛会のうちに幕を閉じました。



「日本語」について語る 水谷 修氏

TNVN設立二周年に寄せて

東京都生活文化局国際部副参事 米原 亮三

「ことば」は、外国で生活するための不可欠な手段であるとともに、外国の文化や習慣、諸制度への「扉を開く鍵」です。日本語を外国人に教えておられる皆様は、外国人の「助っ人」であるとともに、多様な文化の「案内人」でもあると思います。

東京は経済の繁栄とともに国際的な都市が約束されているという80年代の夢から覚めて、自らの課題として、国際化を考えなくてはなりません。異なる言語や宗教、文化を持つ人と分かり合うためには、多くのエネルギーを必要としますが、そこで得られた信頼と友情は国境を越えて広がっていくでしょう。それ以上に、自分に付け加わった「新しい見方」や「新しい感性」は、生活や心の豊かさをもたらしてくれると信じます。

東京日本語ボランティア・ネットワークの活動は、真の国際都市東京をつくるうえで欠かせないことと思います。皆様の一層のご活躍を祈念します。



1996年1月20日  
午後2時～4時

## 東京日本語ボランティア・ネットワーク 第三回総会報告

飯田橋セントラルプラザ  
6F 視聴覚室

会員の皆様にはすでにお知らせしたように、1996年1月20日（土）にTNVN第三回総会が開催されました。総会では以下の事項が話し合われ、あわせて以下の方々が96年のTNVN役員として選出されました。

司会：前田恭子

1、代表挨拶	代表	中田 紀子	③ 1996年活動計画案	新事務局長	林川玲子
2、議長選出および議長挨拶	議長	清水 正敏	1996年予算案	新会計	大久保澄子
3、議事録署名人の氏名	議事録署名人	田島 信子	5、閉会の挨拶		アレン美智子
4、議事 ① 1995年の活動報告	事務局長	林川 玲子			
	会計報告	甲斐 武子		《懇親会》	
	監査報告	監査 渡辺 昌人	司会		清水 正敏
	② 次期役員/監査 選出			来賓紹介、出席者自己紹介等	

今年もTNVNでは各種講習会やイベントを開催します。

皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

総会で選出された新役員及び監査の方々のメッセージをご紹介します。

代表／中田 紀子<sup>としこ</sup>（多摩市国際交流センター・多摩市）

TNVNも三年目を迎え、昨年に引き続き今年もまた代表を務めさせていただくことになりました。初めに、会員の皆様のおきご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

世界中の人々と真に心を通わせるための手段として、言葉が占める役割は非常に大きいと思います。意志の疎通が完全であれば、人間相互の摩擦は減少し、平和は維持されていくことでしょう。阪神大震災による暗い出来事によって日本人のボランティアに対する意識は深まり、TNVNの活動もさまざまな分野から注目を集めるようになりました。昨年、予想以上の発展を遂げ、規模が拡大したTNVNの今後の課題としては、活動の位置付け、構想の明瞭化、を計る事があげられます。インターネット等のメディアによってより多くの有意義な情報を提供し共有化すること、講習会、交流会等の参加による人脈の拡大、また行政との連携に積極的に取り組み、その壁を薄くすること等、行なうべきことは限りなくあります。

今年は多くの意見から生まれたテーマを大切に、具体化するために、昨年より更に幅広い年齢層・地域から成り立った運営委員の力を中心に、平等に、和やかに、楽しく、協調性と許容の心をモットーに、会員の要望にできる限り応えるべく、優れた技能を持った事務局スタッフと共にTNVNの充実と発展を目指したいと考えています。

副代表／清水 正敏（池袋異文化研究所・新宿区）

2年目をやらせていただくことになりました。1年を振り返って見ると、このネットワークは着実に育ちつつあり、これからの1年はこの流れを継続させることだと思います。地道に、皆さんと力を合わせてです。私は一社員ですので、夜や土日といった限られたお手伝いしかできませんが、平凡な一社員の感性をもってネットワークに入り、「一隅を照らす」存在でありたいと思っています。よろしくお願いいたします。

副代表／福田 知行（協力会員・日本大学講師）

「はじめまして」と挨拶できない副代表の福田です。というのも、TNVNが活動開始したときにやはり副代表をやらせていただいたからですが、今回も又、「副代表（フクダイひょう）の福田です」と言えるようになったので（？）心からうれしく思っています。昨年は、以前副代表だった時に知り合った方々との関係で、TNVN以外のネットワークにも顔を出させていただいたり、様々なボランティアグループと付き合わせていただいたりして非常に触発された1年間でした。今年も又様々な人との出会いを楽しみにしています。



**事務局長／林川 玲子 (協力会員・港区)**

日本語学習者(外国人など)とその支援者(ボランティア)が、より身近な場所で活動できるように情報交換できたら、というのがネットワーク結成の原点だったと思うが…。

TNVNも3年目に入り、その活動は落ち着くどころかさらに新しい要求が生まれている。高齢化社会での生きがいとなるボランティア活動として、又地域に増える外国人住民への対応策の一つとして、日本語ボランティアは関心を持たれてきている。

1月12日に福岡市で開かれたシンポジウム「情報化社会における多民族の共生をめざして」では「将来の高齢化社会での外国人労働力に対する需要は大きい。21世紀中ごろには外国人を隣人として暮らすことが当たり前となるだろう。」(日経1/27付)とのこと。外国人と共生する社会での日本語ボランティアのあり方、位置付けを考えなければならない時が来た。

3年目も事務局長を務めることになりました。よろしくお願いたします。

**会計／大久保澄子 (弥生日本語の会・文京区)**

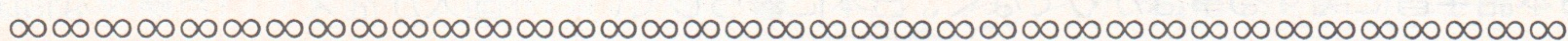
日本語ボランティアを始めて私自身のネットワークがとても広がりました。国の異なる人達との出会い、ボランティア同志のつながりの中で生まれる様々な体験…、私にとってどれも貴重な財産です。団体間のつながりを広げ深めることに、会計という立場で関わっていく事で、さらに私のネットワークを広げようという多少の打算を含めて、今回担当させていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

**会計／甲斐 武子 (日本語ボランティア「ともだち」・足立区)**

足立区の日本語ボランティア「ともだち」の甲斐と申します。「ともだち」の発足と同時にボランティア活動を始めてからそろそろ9年になります。このたび、会計を担当することになりました。これを機会にいろいろなグループの方々との交流を深め勉強させていただこうと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

**監査／渡辺 昌人 (LTC友の会・杉並区)**

昨年一年間、私を除いて事務局スタッフや役員の方々が面倒な作業を唯黙々とこなしているのを見ていて頭が下がる思いをした。このような優秀な青壮年層がいる以上私は脇役に徹し、今年からは老害にならぬ様、年相應の文筆活動、講演活動を通じてネットワークの活動活性化のお役に立ちたいと考えている。さらにクロスカルチャーに必要な人と人を結ぶジョイントの役目も担いたい等と僭越な考えを抱いている私である。



会員の皆様の意見をよりダイレクトに活動に反映させるために、96年はこれまでより人数を増やし、幅広い地域・年齢層の方々にTNVN運営委員をお願いすることにしました。その結果、以下の方々に96年の運営委員をお引き受けいただき、1月30日(火)には第1回運営委員会が開催されました。

**運営委員 (敬称略)**

- 大野 京子 (フレンド日本語教室・板橋区)
- 国武 礼子 (すみだにほんごボランティア21・墨田区)
- 床呂 英一 (まちだ日本語ボランティアネット・町田市)
- 広谷 知美 (世界日本語クラブ・新宿区)
- 本多 穰 (日本語ボランティア翼の会・羽村市)
- 小川 侑子 (協力会員・練馬区)
- 柳沢 好昭 (協力会員・国立国語研究所)
- 吉田 良子 (協力会員・北区)
- 秋山 由夫 (賛助会員・KDD)

**アドバイザー**

- 池田 昭彦 (東京ボランティア・センター)

**事務局スタッフ**

- ・事務局次長／「日本語 NETWORK NEWS」編集長 前田 恭子
- ・会員会務 田島 信子
- ・情報処理 大滝 啓子
- ・「ボランティア日本語教室が休」担当 橋本 佳子
- ・ファイル「にほんご」 アレン美智子

原則として毎週月曜日(10時~5時)に飯田橋の東京ボランティア・センターで事務局活動を行なっていますので、お気軽にお訪ね下さい。



新役員



## 🌀🌀🌀大きな成果をあげて終了！🌀🌀🌀

昨年秋に開催されたTNVN主催による二つの日本語ボランティア講習会は、数多くの会員の皆様の参加のもと、盛会のうちに終了しました。

(財)日本船舶振興会の援助金を受けて開催された「日本語ボランティア育成講習会」は、95年9月30日(土)から12月2日(土)までの全9回、また(財)国際コミュニケーション基金(KDDグループ企業)からの助成金によって開催された「日本語ボランティア基礎講習会」は95年10月4日(水)から11月8日(水)までの全5回コース。どちらの講習会も受講者の熱意に応えるすばらしい先生方の講義で大きな成果をあげることができたようです。また、「日本語ボランティア基礎講習会」は定員をうわまわる申し込みがあったため、「第2回日本語ボランティア基礎講習会」が企画され、現在、96年2月21日(水)までの予定で開催されています。

### ◆日本語ボランティア基礎講習会の講師を担当して

元橋富士子(津田日本語教育センター)

教壇からの感触として、たいへん熱意を感じました。集まった受講者の方々が個人個人でそれぞれのクラスから具体的な問題点を持って、日本語ボランティア基礎講習会にのぞんでいるということがよく分かりました。それだけに私からの話を真剣に受け止めて下さって、たいへん積極的な反応を示してくださったことに感謝しています。(談)

修了証  
今回より8割以上  
出席の方に修了証を  
差し上げています  
TNVN

### ◆日本語ボランティア育成講習会を受講して

星合恵美子(世界日本語クラブ)

今回の講習会で、日本語教育や外国人に関わる様々な立場の先生方からお話を伺えた事は、とても貴重な体験でした。より多くの情報を求めてやって来られた他の参加者の方々もきっと同じではないでしょうか。日本語ボランティアの現況、各教室の事例報告に始まり、実際の教室活動についてのアドバイス、教科書に対する留意点等、すぐに教室で役立つ講義でした。

また、日本語学習に関する事ばかりでなく、日本に暮らしている外国人が抱えている様々な問題についてのお話もわかりやすく、外国人がおかれている状況をより理解できるボランティア教室だからこそ、日本語を通してお互いに理解を深める場であることが大事であるということを改めて感じました。

最終回に行われた交流会では不安は解消されたのか、みなさんが生き生きとして、これから先のボランティア活動に自信を持った表情をしているのが印象的でした。

### ◆日本語ボランティア基礎講習会を受講して

片岡久弥子(JCA玉川)

「第一回日本語ボランティア基礎講習会」は有馬・元橋両ベテラン講師をお招きして5回にわたって開かれました。前半の有馬先生の講習会では、人気の高い「新日本語の基礎」をもとに、「日本語の教え方の秘訣」を副教材に取り上げられ、豊富な絵教材、サービス精神旺盛なジェスチャーや演技で、時間の経つのを忘れませんでした。後半の元橋先生は「教材の使い方」をテーマに初中級の各種のテキストの一部を紹介され、目から鱗が落ちた思いの先生独特の教授法で、大学生に戻った様な緊張感と深い自己反省とで胸がいっぱいになりました。先生の御指導を早速落ち込んでいた学習者に使って、見事に自分に引き寄せる事ができ、大感激している友人もいます。とにかくすごい先生だと思います。こんな素晴らしい講習を企画、提供して下さったTNVNの皆様に感謝すると共に、自分なりにこの教えを消化し少しずつ自分のものにしてボランティア活動をより豊かにできる事を心より願ってやみません。



# NICE TO MEET YOU!

会員団体のプロフィール

## 寺子屋的たまり場

池袋異文化研究所（新宿区） 清水 正敏

発足は1992年3月で、代表は井上孝代先生。先生は東京外国語大学留学生センターの教官で心理学が専門。研究所の拠点は、JR山手線目白駅近くのマンションの一室で、会員は社会人ばかりです。活動は極めて地味で、大きく宣伝はしていません。活動は以下の2つです。

### 心の相談室

井上先生が担当で、先生の同僚や仲間の方々にも手伝っていただき実施しています。予約制で、日本の文化に慣れず悩んでいる外国人にカウンセリングを行います。

### 日本語サロン

月2回、アジア（特に中国）の人々と日本語を通じ交流します。教室は1DKマンションのため会員と学習者5～6人で行ない、時には日本人で面白い異文化体験を持った人（ジープで中国辺境地帯を駆け巡る等）を呼び、話を聞くこともあります。

時には教室で一杯やりながらしたり、近くの居酒屋でゆったりします。だから正統派の教室とは言えません。教える側は社会人なので、日本語のレッスンというより日本の社会の様々な事を社会経験を踏まえて話し合うことが中心です。要するにここは、「寺子屋的たまり場」と言えます。難しい決まりもなく、楽しく遊び心を発揮する場所です。

## 楽しい仲間と楽しい日本語

日本語ボランティア「翼の会」（羽村市） 本多 穰

私たち「翼の会」は、楽しい仲間と楽しい日本語をモットーに外国籍市民のニーズに合わせた内容をとりあげ、楽しく日本語を学習しています。

もし私たちが知らない外国で生活することになったら、どんなに心細い事でしょう。

羽村市内にも、肉親や友人と離れ、生活する外国籍の方がたくさんいます。毎日生活する上で直面する数々の問題、子供が病気になったり、学校から読めないプリントを持ち帰ったり、そんな生活する上で困っていることを一緒に話し合い、日常生活に適應できるよう、お手伝いできたらと、火曜の夜七時と木曜の朝十時に活動しています。

皆さんも市内で外国籍の方を見かけたら気軽に声をかけて上げてくださいね。



11月・ハイキング

このページは皆様のグループ紹介のページです。いつでもお気軽に投稿してください。600字程度。



# ZOOM IN

日本語ボランティアレポート

# JANIC

## NGO活動推進センター

(JAPANESE NGO CENTER for INTERNATIONAL COOPERATION)

東京都千代田区神田錦町2-9-1 斎藤ビル5F

### 草の根レベルで国際協力 市民組織の活動をサポート

世界各地で大きな災害などが起こった際にその地域へ救済に駆けつける人々の姿は、マスコミを通じて世界中に報道され、私たちにもなじみの深いものとなっています。そのたびに耳にする『NGO=Non-Governmental Organization』という言葉が『非政府組織』ということにはわかって、その活動の実態については深く知ることはありませんでした。そこで今回は、NGO活動推進センター（JANIC）をお訪ねして湯本浩之さんにお話をうかがいました。

### NGO=非政府組織って、どんなもの？

NGOという言葉は、もともとは国連と政府以外の民間団体との協力関係について定めた国連憲章のなかで使われている用語です。JANICでは、国際協力に携わる市民組織をNGOと呼んでいます。その活動は開発・人権・環境・平和など、幅広い分野にわたっています。国連や青年海外協力隊などの関連組織と誤解されることもあるそうですが、これらのODA（政府開発援助）が国家としての発展を目指し、ダムや道路などの整備に力を入れているのに対し、NGOのほうは一般の人々の生活向上を念頭に置いたきめ細かな支援を中心としています。つまり、ODAとの大きな違いは誰にでも参加可能な草の根レベルの国際協力団体ということなのです。

現在のところ、明確に決められたNGOの定義というものは存在せず、活動する人々の認識次第といえるようですが、NGOとして活動する団体の共通項は次の通りです。

- ①非政府    ②非営利団体    ③国際協力をしている団体
- ④市民参加型の団体

JANICの調査によると、95年現在で日本国内でNGO活動を実践している団体は300以上あり、その活動は国内外で高い評価を受けているそうです。JANICでは2年に1度、国際協力に携わる日本の市民組織を調査して『NGOダイレクトリー』を発行。団体の活動内容・組織などや資料情報センター・関連団体リスト・関連図書など、幅広い情報を掲載しています。96年2月末には新たに96年度版（B5版350ページ・定価2700円）が発行されますので、興味のある方はJANICまでお問い合わせ下さい。



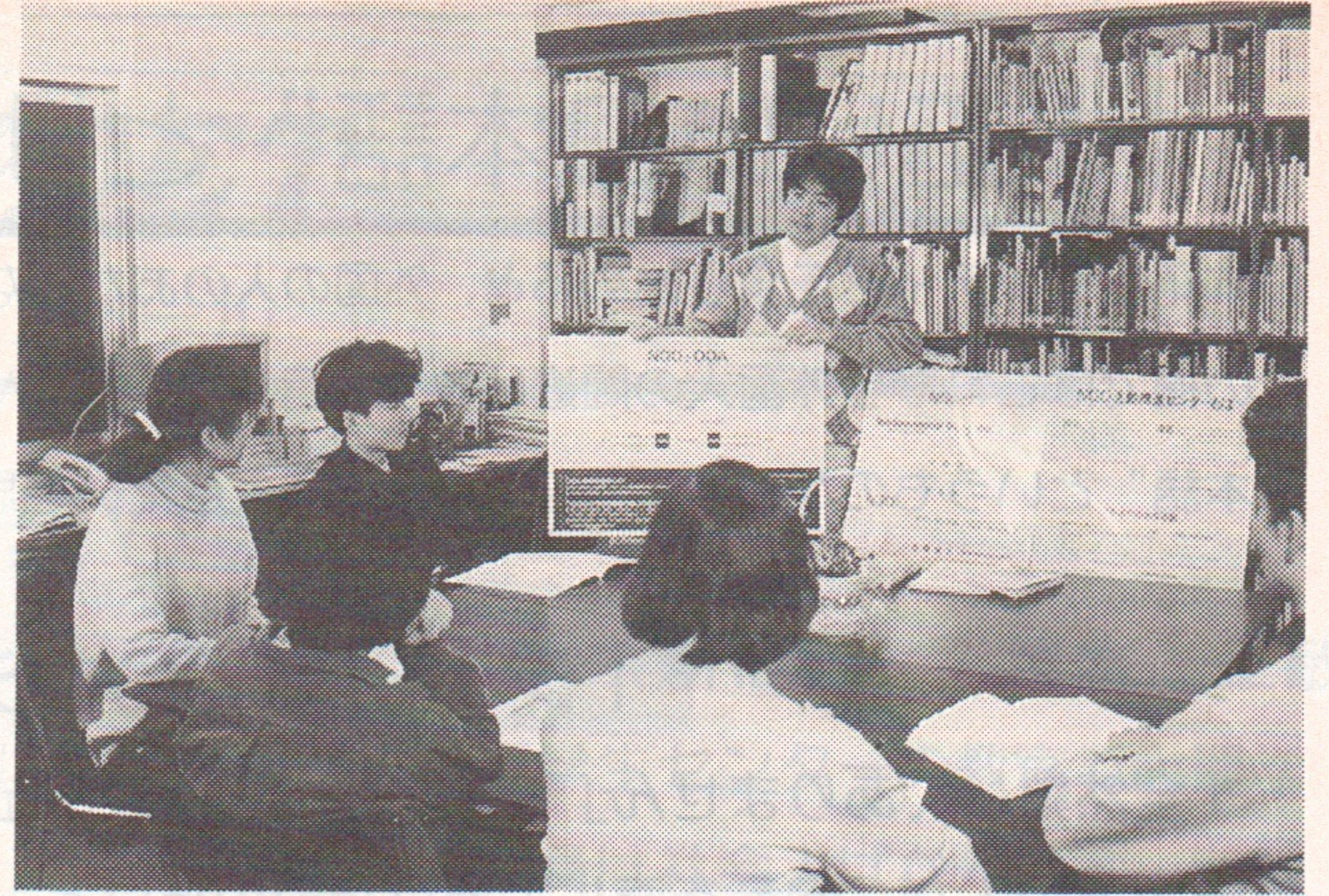
### NGOの中でのJANICの果たす役割

JANICは、NGO間の協力とNGO活動の向上を目的として、1987年10月に設立されました。日本でのNGO活動は1960年代に始まり、70年代末のインドシナ難民の国外流出問題を契機に数多くのNGOが発足しました。その後、中・長期的な開発への取り組みなど活動の幅を広げたことから、横の話し合いが求められるようになり、それがJANICの発足へと結びついたわけです。



JANICの主な活動は以下の通りです。

1. NGO間のネットワーク作り、  
及び関係機関との協力関係の促進
2. NGOの人材育成、及び組織強化
3. 地球市民教育の普及
4. 調査研究、及び適正技術の普及
5. 情報サービス、及び相談事業
6. NGO活動に関する書籍等の翻訳・出版



JANICの運営は、会員からの会費や寄付金、イベントや出版などの事業収益で賄われています。決して豊かな財源があって運営しているわけではありません。近年マスコミ等にも取り上げられ、企業などの理解も徐々に得られるようになってきましたが、より広く社会に理解されることが必要です。

JANICはNGO活動をしている団体のネットワークの要として全国の数多くのNGO活動をしている団体との架け橋となったり、積極的に外務省や郵政省、環境庁等、政府に政策提言などの働き掛けを行っています。こうしてNGO活動全体へのレベルアップの手助けをしています。

## 日々の地道な活動がNGOをバックアップ

NGOの活動に注目が集まるなか、NGO活動団体に就職を希望する人も年々増加しています。ある団体の事務局員募集には60名もの応募がありましたが、その多くがNGO活動の実態をきちんと理解していなかったといえます。憧れだけでは続かない厳しい仕事だけに「この仕事は、気持ちの上ではボランティアと思っています」と湯本さん。マスコミで報じられるNGOの姿は海外での活動など、どうしても華やかな面にスポットがあたりがちです。しかし、海外でプロジェクトが展開できるのも、日本国内での後方支援があってこそ。会員への報告や、他団体・関係機関との連絡など、地道な活動によって支えられているのです。また、時間がなくて直接活動に参加できないという人でも、例えば使用済み切手やプリペイドカードを収集するなど、さまざまな形態でNGO活動に参加する方法もあります。

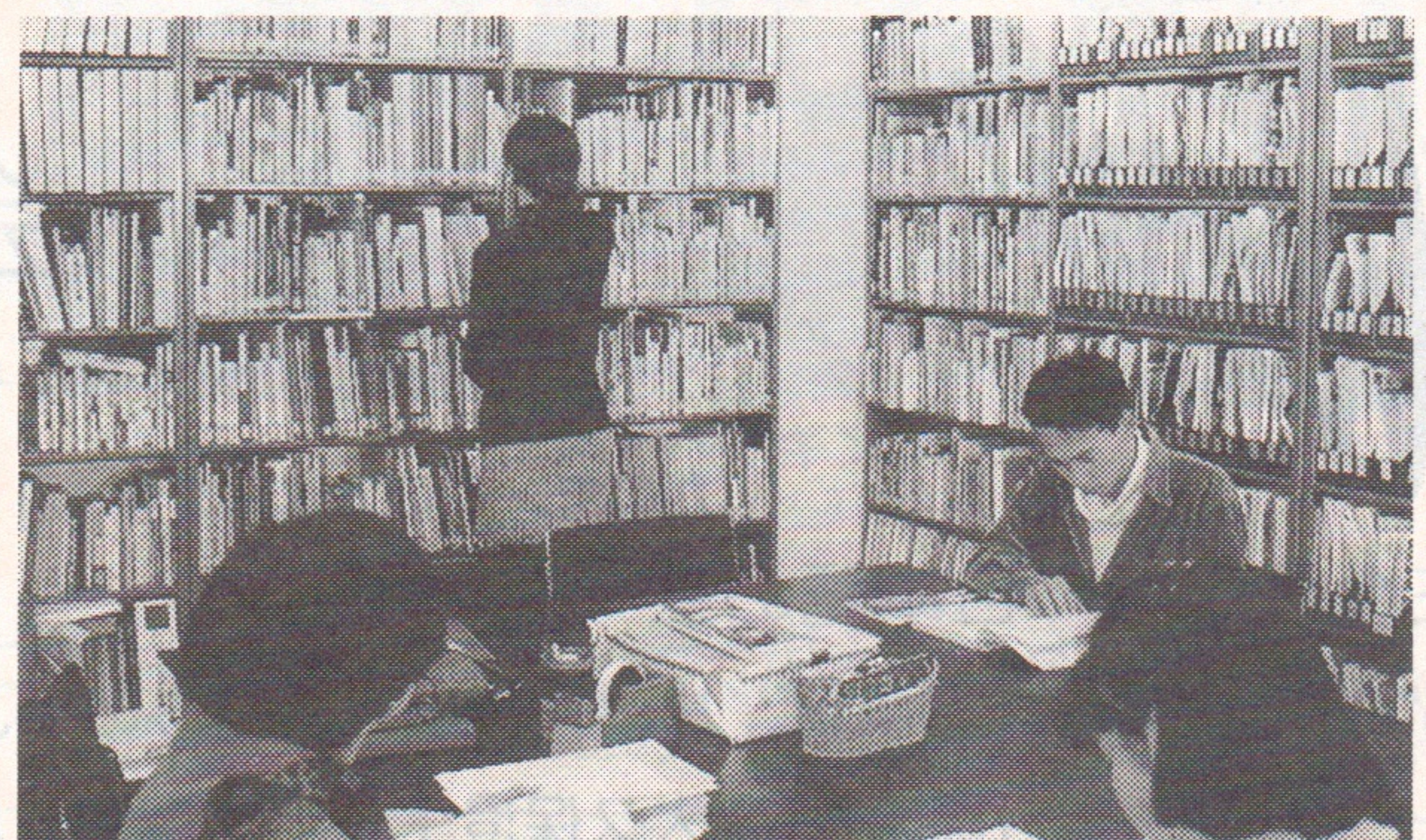
NGO活動への期待が高まっているものの、活動資金の確保、人材の育成など、まだまだ充実していかなければならない課題も多くあります。今後は、企業や労働組合などにNGO活動をPRして、一人でも多くの方が活動を理解し、それぞれに適した方法での参加を呼びかけていくそうです。活動をサポートしてもらうためにも、JANICでは『NGO市民情報センター』を設置して各種の情報を提供。その他、毎月1回、NGOの活動への参加の窓口として『NGO入門セミナー』を開催しています。一人一人が自分自身の生活に合った活動の方法を見つけて、世界に貢献できることを期待しています。

~~~~~  
NGOについて知りたいことがたくさん… でも、どこに行けば答えがあるのだろうか？

### JANIC・NGO市民情報センター

では国際協力に携わるNGOに関するさまざまな資料や情報を収集した資料室を一般に公開しています。(会員以外は有料)

- ◆公開日時：毎週火/木/土 13:00~17:00  
水 13:00~20:00
- ◆問い合わせ：☎03-3294-5370





## “正しい日本語”とは何か

日本大学講師 福田 知行

日本語ボランティアをやり始めると、外国の人のおかしな（今まであまり聞いたことのない）日本語を聞くようになります。この欄ではこれから外国人の間違いやすい日本語（発音や文法）を観察し、その観察を通じて私たちが考えている“正しい日本語”というものがどのようなものかを見てきたいと思います。

### 「ジェンジェンむジュかしくありません」

「全然難しくありません」をある国の人から「ジェンジェンむジュかしくありません」と言うのを聞いたボランティアの人が、発音を直してあげたいのだけど…、とやってきたことがあります。「ざ/ず/ぜ/ぞ」は、特に関東方言では「つぁ/つ/つえ/つお」の濁音 [dza/dzu/dze/dzo] になりやすい音であり、「つ」自体が母語にない国の人にとってはその濁音である音も難しいことになります。そういう音のない矯正は基本的に無理だといえるでしょう。これは日本人が「L」と「R」の区別ができないのと同じことです。勿論、耳のいい人ならばすぐに矯正できるかもしれませんが、よき指導者、よき指導法、本人の熱意、努力、練習時間、お金、等々がそろえば矯正も可能かもしれません。

ただ、考えてほしいのは、「つ」が発音できないということがそんなに都合が悪いことか、ということです。「ちゅくえ」は子供っぽく聞こえるかも知れませんが、日本人が We eat lice in Japan. 「日本人はシラミを食べます」と言うよりはましではないでしょうか。東北地方の人が「しゅんしゅい」と言ったら直してあげなければいけないのでしょうか。

### 発音矯正と日本語ボランティア活動

問題は、母語話者である我々が外国人に発音しにくい音声をどうとらえるかということなのです。確かに、「つ」やざ行の発音以外は完璧な日本語を話す外国人に会ったら、直してあげたくなくなってしまったりかもしれませんが、本人にその気がなければあまり効果はなく、「小さな親切、大きなお世話」ということになってしまいます。平均的な日本語ボランティアグループの活動時間は週1回2時間というところが多いと思いますが、貴重な時間の大部分を「つ」の発音練習だけに費やしていいのでしょうか。お互いに発音を直したい、直してあげたいと思っているのなら、それはそれなりに貴重な時間になるかもしれませんが、私にはあまりいい時間の使い方とは思われません。もっと重要な情報を交換したり、楽しい会話をして幸せな気分で家に帰れるかもしれないからです。少なくとも私の知る限りではそうした練習で成果がある人はあまり多くありませんから、ほとんどの人が「ああ、こんなに努力しても私の発音はだめなんだ」と思いながら家に帰ることになるでしょうし、今まで持っていた自信を無くし、すべてのことに消極的になることも考えられます。だからといって、そうした発音矯正は一切するなと言っているわけではありません。

ただ日本人（特に自分自身）が使う日本語と違うものでも（外国人によっては）直さなくてもいい場合があるのではないかと、つまり“正しい日本語”というものをもう少し幅広いものとして考えてみることも必要ではないかと言っているのです。

Welcome

### 新入会員のご紹介

「日本語 NETWORK NEWS」第7号では、1995年10月までに加入された皆さんをご紹介しましたので、ここでは95年11月以降に加入された方々をご紹介いたします。（敬称略）

- ◆正会員 : 日本語の会（渋谷区）
- ◆協力会員 : 作間美果、片岡久弥子、吉川みのり、原 裕視、木原美和子、山本ルミ、飯田晃子、小沼正博、大久保澄子、甲斐武子、床呂英一



# ☎「国際電話」を通して在日外国人をサポート☎

## ～KDDの企業としての社会貢献～

KDD国際電信電話(株)

コンシューマ営業部第6G担当部長 木村 文隆

警視庁の調べによると在日外国人からの「110番」通報は、昨年1年間で約3,000件余り。そのうち約4分の1が国際電話のかけ方についての問い合わせだったそうです。大半は公衆電話からのものだったそうですが、国際電話のかからない公衆電話ボックスのなかで、困惑しきっている外国人の姿が目につかび心の痛む新聞記事でした。不正テレカ対策などむずかしい問題もありますが、国際電話の会社としても反省させられる内容でした。言葉の壁に苦しみながら日本で生活をされている方々にとって、母国の家族との電話はどんなに貴重で心休まるひとときであることでしょうか。国際電話のダイヤル方法や、問い合わせ用番号「0057」のご案内、より安い電話料金の実現など、私たちのやらなければならないことはたくさんあります。

国際電話を介したTNVN支援プログラムも、私たちのそんな気持ちから始めました。現在ではご賛同いただいている方も300名を越え、支援額も順調に伸び、支援させていただく側といたしましても嬉しい限りです。この誌面をお借り知て、ご協力いただいている皆さまに心から御礼申し上げたいと思います。

また、「日本語 NETWORK NEWS」を通じて、皆さま方の熱意あふれる活動内容を伺い知ることができるようになったのも私どもの大きな収穫でした。KDD社員やOBの中にも地域で日本語教師として活躍している者がたくさんいることも知りました。昨年はこうしたOBの方々やTNVNメンバーの方のご協力を得て、「日本語による電話対応」教室なるものを私たちの手で試行実施し、おかげさまで参加者からも概ね好意的な感想をいただきました。今後さらに回数を重ね、「KDDの日本語電話教室」として定着させていきたいと考えています。

「値下げしましたから、安い001をご利用ください」と声高に宣伝するだけでは、成り立たない時代になってきていると思われれます。企業もNGOやボランティアグループと共に、社会的な責務を果たしながらレーゾンデートルを模索していかなければなりません。

ちょっとPRさせていただくならば「人の間にKDD」というのが私どものスローガンです。  
未長いお付き合いをさせていただきたいと思っております。 (賛助会員)



### 『ボランティアみほん市』に参加しました！

東京都社会福祉協議会東京ボランティア・センターの主催による『ボランティアみほん市』が1月27日(土)に開催され、TNVNもそのなかの活動相談会にブースを開きました。これはシニアを対象としたボランティアの活動見本市で、ボランティアへの関心の高まりもあって当日の会場は大盛況。さまざまなボランティア団体がブースを開く中、日本語ボランティアへの関心はとくに高く、48名の方々(9割が男性)が活動案内や相談のためにTNVNのブースを訪れました。



# NETWORK INFORMATION

『日本語ボランティア相談窓口と入門講習会』第2期を実施しています。

入門講習会は、3月は「ボランティア日本語教室の開設と運営について」、4月は「ボランティア日本語教室活動紹介、事例報告」をテーマに、それぞれ午後と夜間に開催。あわせて、日本語ボランティア相談窓口では、日本語教授法からグループ運営まで、幅広い分野のご相談に経験豊富なスタッフが答えいたします。新たにメンバーになられた方にぜひお勧めください。

- ◆日時／3月12日(火) 午後1～2時(相談窓口)、午後2～4時(入門講座)  
3月19日(火) 午後5～6時(相談窓口)、午後6～8時(入門講座)  
4月16日(火) 午後4～5時(相談窓口)、午後2～4時(入門講座)  
4月23日(火) 午後8～9時(相談窓口)、午後6～8時(入門講座)
- ◆場所／東京都生涯学習情報センター セミナー室(JR/地下鉄、有楽町駅下車3分)
- ◆参加費／入門講座は1回600円(相談は無料)
- ◆全6回参加した方には、修了証を差し上げます。(どの回からでも参加できます。)

みんな集まれ!

## 96年TNVN第1回交流会

◆日時／3月17日(日)

午前10時～午後4時半

◆場所／飯田橋・セントラルプラザ5F 講習室

◆内容／ただ今企画中

3月初めに出すチラシをご覧ください。

EX. 日本語ボランティアQ&A

インターネットのデモ

KDDの「外国人のための日本語電話教室」等

## 会費納入のお願い

1月より年度が変わりました。

年会費を納入下さい。

- ▼正会員(団体) 3,000円
- ▼協力会員(個人) 2,000円
- ▼賛助会員 1口 10,000円(1口以上)
- ▼郵便振り替え口座番号 00100-1-719259  
東京日本語ボランティア・ネットワーク

インターネットで  
TNVNの情報を見るには

tnn. interv. international  
に接続して下さい。

パソコン通信 Nifty Serve で  
TNVNの情報を見るには

```
go internet
↓
4 (R) (netnews を選択)
↓
4 (R) (tnn ニュースグループ を選択)
↓
2 (R) (新社会システム/NGO・NPO を選択)
↓
4 (R) (インターナショナルフォーラム を選択)
↓
rmn (表題を出すコマンド)
↓
info from TNVN を選択
```



TNVNへの問い合わせ・申し込み等は下記まで郵便またはFAXでお願いします。

東京日本語ボランティア・ネットワーク事務局

〒162 東京都新宿区神楽河岸1-1 東京ボランティア・センター気付 FAX: 03-3235-0050



# Bulletin Board

## 東京の美への招待『花のお江戸を訪ねて』

(財)東京都歴史文化財団では、在日外国人に東京の文化への理解を深めてもらうために伝統芸能を紹介するイベントを開催します。

◆日時/3月16日(土) 昼の部;午後2~4時 夜の部;午後6時30分~8時30分

◆会場/東京都江戸東京博物館(JR総武線両国駅西口より徒歩3分)

◆内容/紙芝居、獅子舞、八王子車人形、江戸太神楽、曲独楽などの解説と実演

◆参加費/無料 (イヤホンガイド・英語による同時通訳つき)

◆対象/都内に在住・在勤・在学の外国人

◆申し込み方法/ハガキまたはFAXで、住所、氏名・電話番号・希望する公演時間

(昼または夜の部)を明記して、下記まで申し込み。1枚につき2名まで連記可。

先着順に受付けて、チケットを郵送します。

〒108 港区白金台5-21-9 東京都庭園美術館内

(財)東京都歴史文化財団 交流事業係「江戸」担当

FAX; 03-3443-3228

### E I F A (江戸川国際友好会)

#### 『日本文化のひとつとき』

外国人の方に生け花、お琴等、日本文化に気軽に親しんでもらうための交流会です。

◆日時/96年3月31日(日)午後1~5時

◆場所/行船公園内 源心庵(江戸川区)

◆参加費/500円

◆問い合わせ/矢加部<sup>やかべ</sup> 百合枝

☎03-3878-8447

### 中国語ボランティア・ネットワーク 『中国語による生活相談』

日本にすむ中国語圏の外国人をサポートしている中国語ボランティア・ネットワークでは、中国語による相談を受け付けています。労働問題・交通事故・離婚問題などの相談に電話または面談で相談を受けています。

◆日時/毎週火曜日 午後5~7時30分

◆場所/東京都新宿区愛住町12 藤栄コーポ3F-B

☎03-3357-5507

◆問い合わせ/〒184 東京小金井郵便局私書箱30号

秦<sup>はた</sup> 佳郎 ☎0423-87-7409

FAX; 0423-82-9280

### 第5回NGO国際フェスティバル 『国際ボランティア見本市』

◆3月19日(火) 午後3~5時 シンポジウム①「NGO活動の進め方」/参加費無料

午後6時30分~8時30分 シンポジウム②「NGOの歴史に学ぶ」/参加費500円

◆3月20日(祝) 午前11~午後4時 NGO活動紹介、エスニック料理、民族音楽、スタディツアー報告会、民芸品・本の販売、NGO入門セミナー、NGO就職相談室など

◆会場/東京YMCA国際奉仕センター(千代田区)

(千代田線新御茶ノ水駅・都営新宿線小川町駅・丸の内線淡路町駅・JR神田駅)

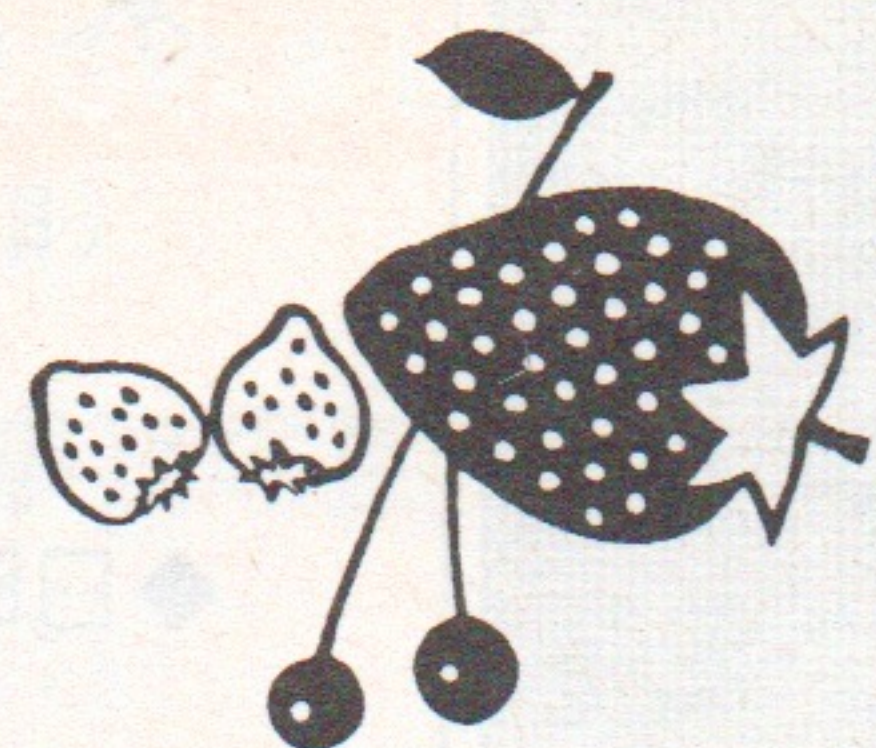
◆問い合わせ/NGO国際フェスティバル実行委員会 ☎03-3293-7011



# SPECIAL THANKS TO

ありがとうございました。

- ◆NGO活動推進センター様/ニュースレターの取材に快く応じていただきました。
- ◆(財)国際コミュニケーション基金(KDDグループ企業)様/(財)日本船舶振興会様  
日本語ボランティア基礎講習会、育成講習会の開催にご協力いただきました。
- ◆KDD国際電信電話(株)様/TNVN設立二周年記念イベントへの会場提供、  
サポートプログラムによる支援金、ニュースレターの印刷にご協力いただきました。



## TNVNへの取材

- ▼TV東京『素敵にこだわり』95,11,25 OA (日本語ボランティア活動の紹介)
- ▼(財)国際文化フォーラム『ワールドプラザ』44号 (TNVN活動の紹介)
- ▼アルク『月刊日本語』3月号 (TNVN二周年記念イベント)
- ▼bay-FM『ピュアウィンド』96,2,7 OA (TNVN活動の紹介)
- ▼東京新聞 (日本語ボランティアとTNVN活動の紹介)
- ▼外国学生新聞社『外国学生新聞』4月号 (TNVN活動の紹介)
- ▼コスモポリタンTV『都議会中継』 (日本語ボランティア活動の紹介)

### FROM EDITORS

仕事やボランティアが一段落したら  
遊ぼうと思っていると、なかなか  
行けないので、いつもボラン  
ティアをお休みにして出か  
活動の充実を計って、  
皆様の健康を祈って、  
思う事は無限です。(NT)

15年前に庭に埋めた夏みかん  
の種が見事に成長し、今年初めて  
実をつけた。今年は何かが良い  
ありそうな……。 (S)

寒い寒い  
木枯らしの中を自転車で  
ボラセンに来ると、暖いです。  
暖房が効いているくらいだけ  
ではなく、スタッフの熱気  
が気温を上げています。  
NT

新スタッフと手配1年同  
活動します。

栗の駒、アトメグー  
含めて10人です。

今年もいろいろな企画を  
実現させたいです。

あう活動  
あう活動  
あう活動  
あう活動  
あう活動  
あう活動  
あう活動  
あう活動  
あう活動  
あう活動

昔は機械といけば動かす  
ものだけに最近では動か  
されていくと思ふことが  
動かせるようになる、この  
ももとスムーズにいくと思ふ。  
(A)

寒さ厳しき中でも何かを  
しつければ... と 皆さん  
元気ハツラツ! 風邪など  
吹き飛ばしています。  
今年一年 元気でいられます  
ように。(S)

### 編集後記

- 📖 TNVNの活動も3年目に入り、今年は『日本語ネットワークニュース』も隔月刊で偶数月に発行の予定です。  
皆様の意見を反映した紙面作りを目指したいと考えていますので、ぜひご意見や情報をお寄せ下さい。
- 📖 ある会合で『ボランティアをしてるのはお金と時間をもてあましてる主婦』という発言を聞いて、  
ボランティアへの理解のなさにがっかりしました。みなさんの反論をお待ちしています。
- 📖 自分の名刺に今流行の e-mail address を入れたいという不純な動機で始めたインターネット。  
始めた途端にアクセスが続々。当分はまりそう。